

Hirata

The Global Production Engineering Company

2018年3月期 第1四半期 決算説明資料

平田機工株式会社



I. 決算状況

2018年3月期 第1四半期 (4~6月)

Hirata



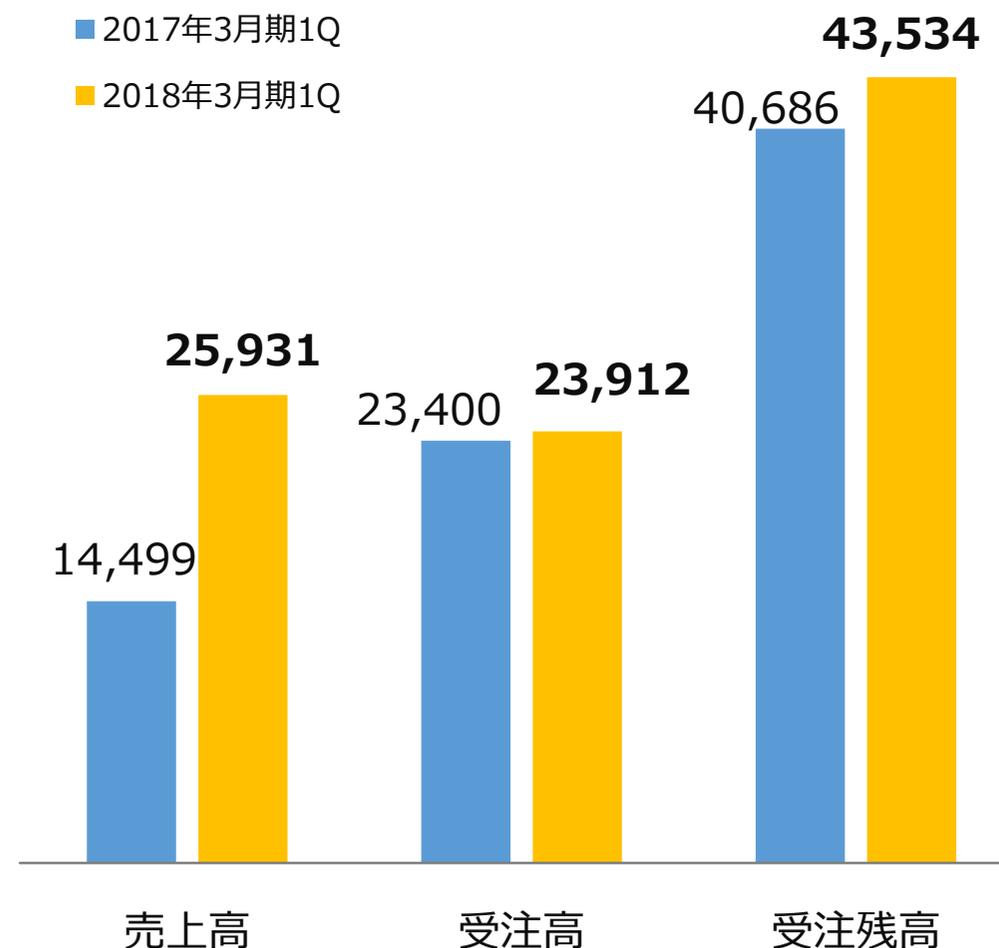
決算概要

有機EL蒸着装置を中心に半導体関連生産設備事業が大幅増収となり、自動車関連生産設備事業においても、北米メーカー向けのパワートレイン関連設備に加え、電気自動車（EV）メーカーへの売上などにより大幅増収。

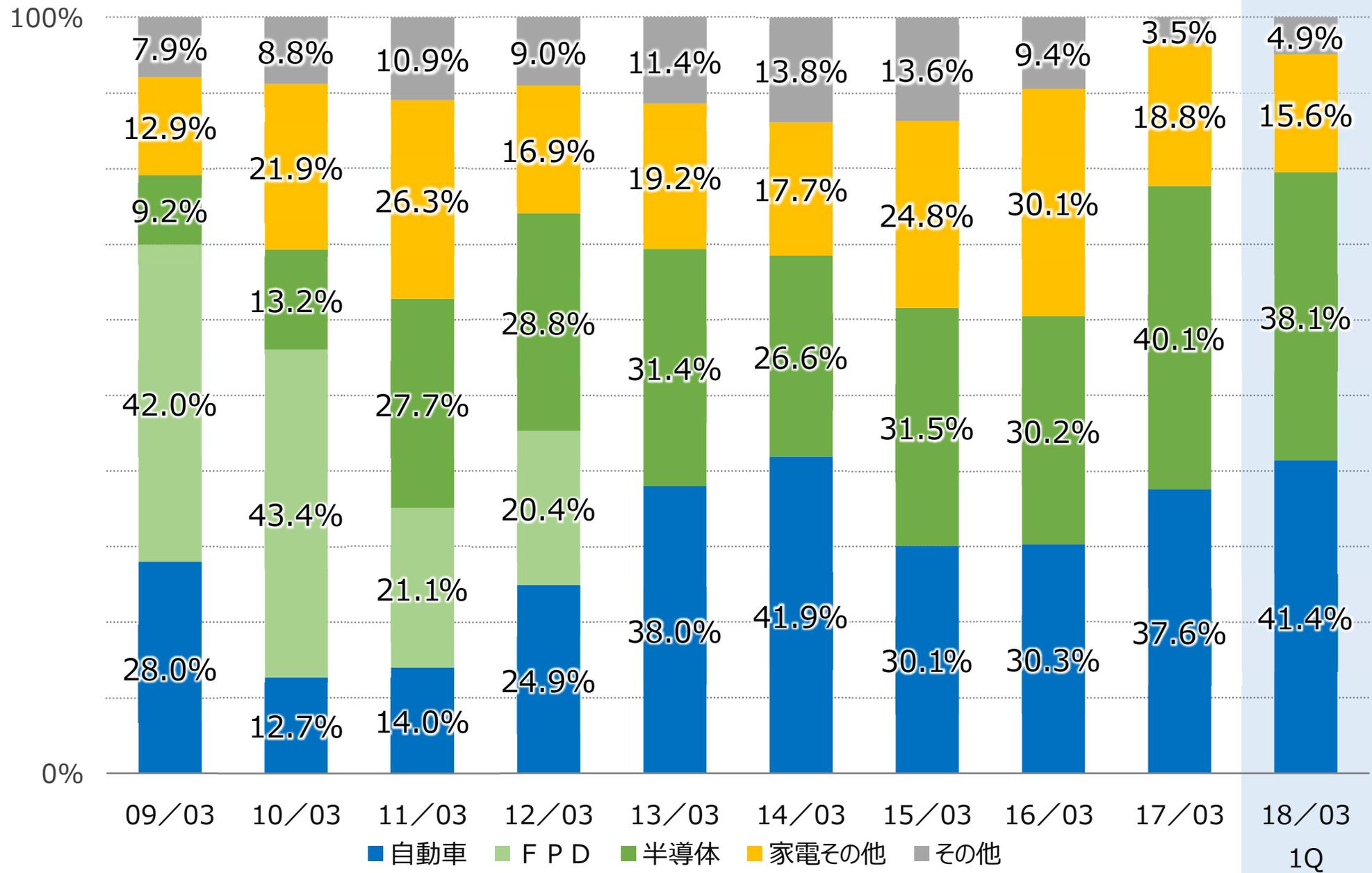
(単位：百万円)

	2017年3月期 1Q実績	2018年3月期 1Q実績	増減率
売上高	14,499	25,931	+78.8%
営業利益	1,519	3,181	+109.3%
経常利益	1,335	3,095	+131.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	789	2,064	+161.4%

(単位：百万円)

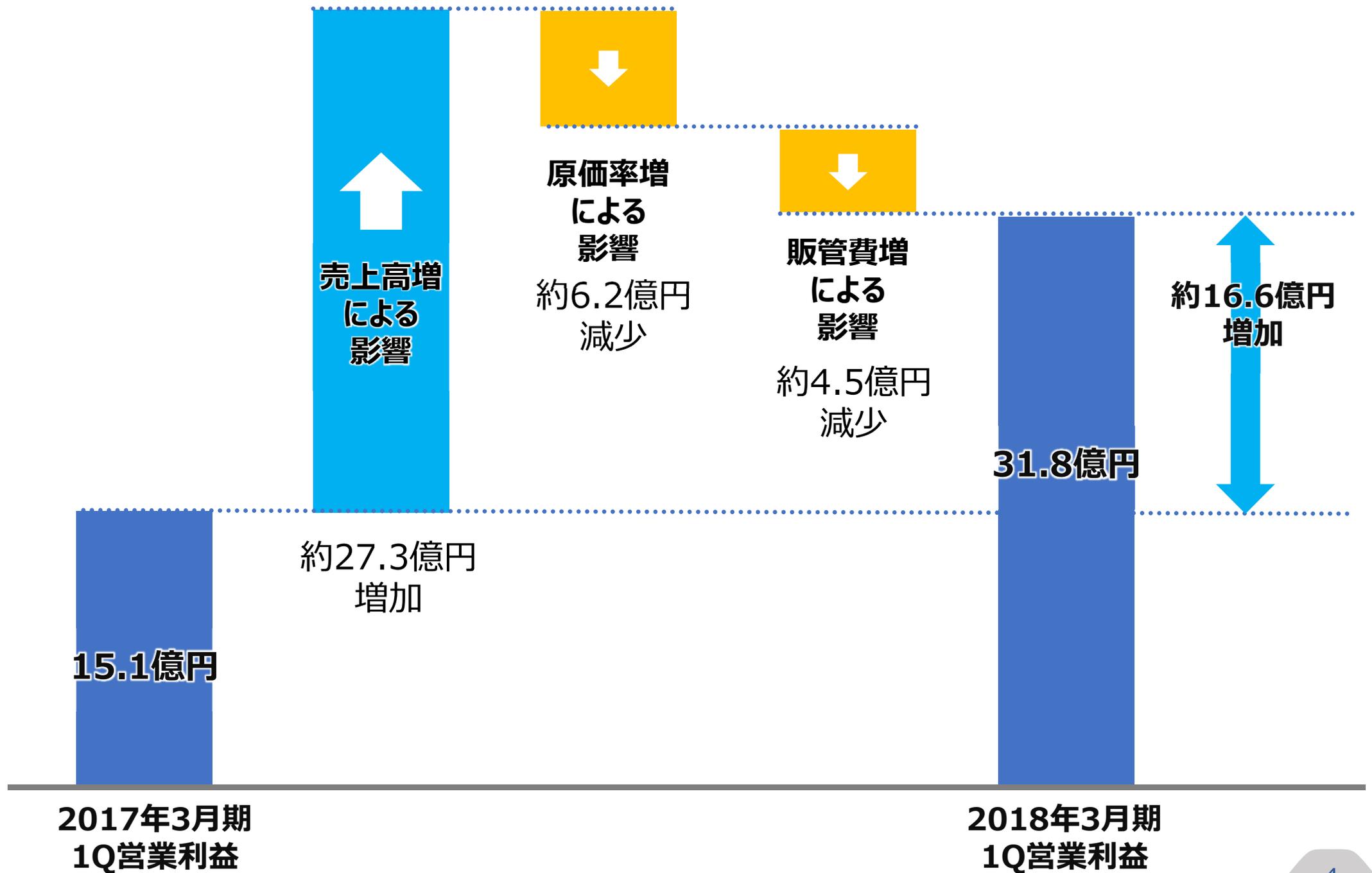


I 決算状況 事業部門別売上高構成比推移



※2013年3月期より、FPD関連事業は半導体関連事業に統合

I 決算状況 営業利益の増減要因分析



貸借対照表

(単位：百万円)

資産	2017年 3月期	2018年 3月期1Q	増減
流動資産	67,466	79,686	+12,220
固定資産	20,780	21,276	+496
有形固定資産	16,248	16,220	△28
無形固定資産	623	614	△9
投資その他資産	3,907	4,441	+533
資産合計	88,246	100,963	+12,716

負債	2017年 3月期	2018年 3月期1Q	増減
流動負債	48,217	49,830	+1,612
固定負債	12,457	11,822	△634
負債合計	60,674	61,652	+977
純資産			
純資産合計	27,571	39,310	+11,739
自己資本比率	30.9%	38.6%	+7.7Point

主な増減項目

資産

現金及び預金	+7,578
売上債権	+4,813
棚卸資産	+894

負債・純資産

資本剰余金	+9,591
前受金	+3,982

想定為替レート

(単位：円)

想定為替レート	2017年4月1日～6月30日 実績レート	2017年7月1日～ 想定レート
為替レート (対US \$)	111.79円	100.00円

株価推移

(単位：円)

株価推移	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年3月期		
			4月	5月	6月
最高	3,100	9,560	9,340	11,480	13,000
最低	782	2,275	8,030	8,800	10,930
末日	2,752	9,010	8,800	11,350	11,640

PER/PBR/ROE

PER/PBR/ROE	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期1Q
PER (倍)	16.08	14.43	—※
PBR (倍)	1.22	3.12	3.12
ROE (%)	8.00	24.30	—※

※PER・ROEについては、四半期の利益では比較に適さないため記載しておりません。

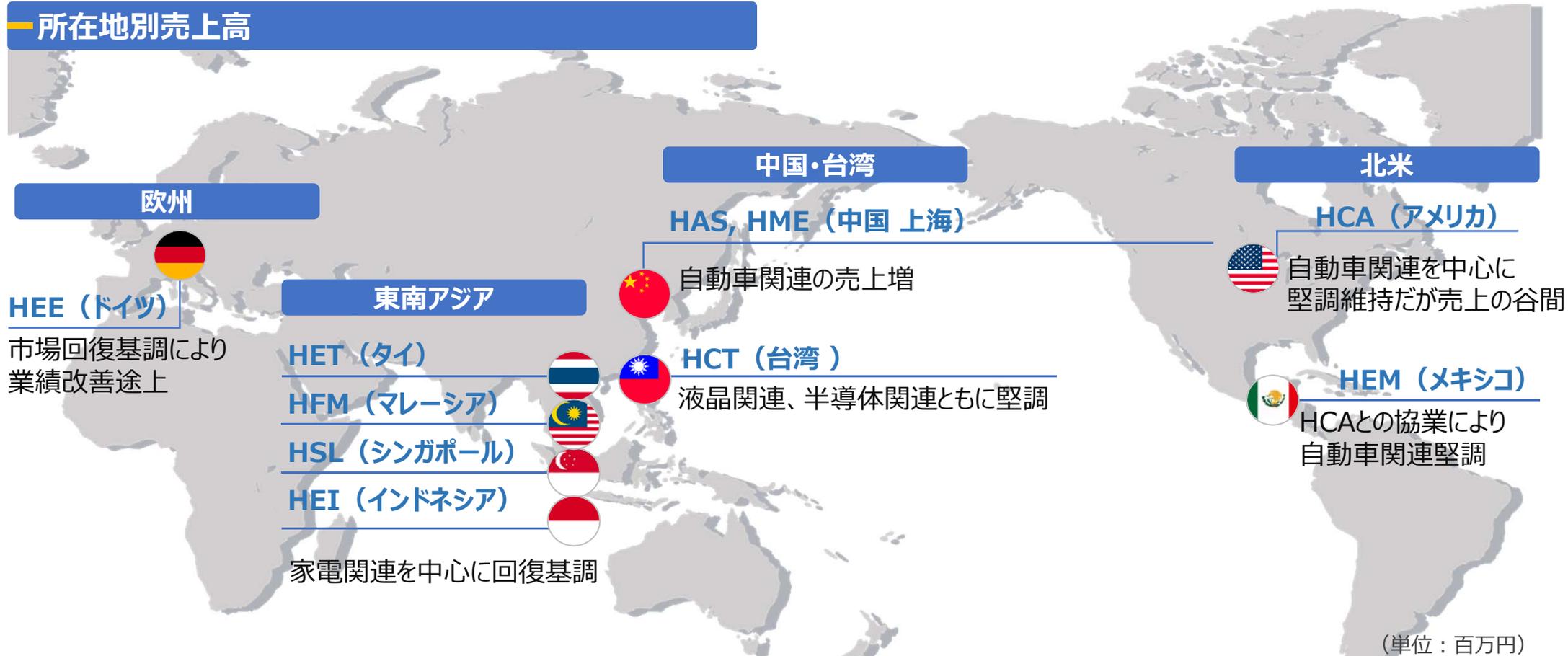
I 決算状況 事業部門別売上高・受注高・受注残高

(単位：百万円)

	事業部門	2017/3 第1四半期	2018/3 第1四半期	対前年同期比 増減率
売上高	自動車	4,999	10,731	+114.6%
	半導体	6,714	9,879	+47.1%
	家電関連およびその他	1,897	4,058	+114.0%
	その他	888	1,261	+42.0%
	合計	14,499	25,931	+78.8%
受注高	自動車	7,377	5,026	△31.9%
	半導体	10,865	12,542	+15.4%
	家電関連およびその他	2,564	5,688	+121.8%
	その他	2,593	655	△74.7%
	合計	23,400	23,912	+2.2%
受注残高	自動車	17,543	19,680	+12.2%
	半導体	12,964	15,575	+20.1%
	家電関連およびその他	7,555	6,507	△13.9%
	その他	2,621	1,771	△32.4%
	合計	40,686	43,534	+7.0%

I 決算状況 海外現地法人の状況

所在地別売上高



	日本		アジア		北米		欧州		合計	
	17/3 1Q	18/3 1Q								
売上高	12,808	22,964	558	2,217	1,058	557	75	191	14,499	25,931
営業利益	1,613	3,424	△76	262	71	△404	△12	△2	1,596	3,279

※営業利益の合計はセグメント間の消去を行う前の金額を表示しています。

東証一部に市場変更

2017年6月15日、当社は東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）から第一部へ市場を変更いたしました。

新しいモノづくりへの創造
ビジネスの拡大
社会的貢献

業績
社会的信頼
企業価値
の継続的
向上

東京証券取引所でのセレモニー



熊本大学薬学部と創薬の共同研究講座を開設

当社は、熊本大学薬学部と連携し、2017年7月1日付で天然物創薬共同研究講座を開設しました。

熊本大学薬学部の敷地内に整備中の「自然共生型産業イノベーションセンター」の5階フロア 400㎡に、当社から5名、同大学から2名が常駐し、薬学部内にある植物9万種の資料を活用、新薬候補物質を探し、AIDSや慢性腎臓病、アルツハイマー病などの治療薬開発につなげます。

当社のバイオ機器事業で開発した細胞の走化性検査装置などの技術を活かしてまいります。



6月30日、熊本大学にて行われた記者会見

有機EL関連・電気自動車関連状況

●有機EL関連設備、電気自動車関連生産設備ともに高い水準で受注・売上に寄与

(単位：百万円)

	2017年3月期1Q		2018年3月期1Q	
	受注高	売上高	受注高	売上高
有機EL関連	5,321	3,410	6,517	6,575
電気自動車 (EV) 関連	—	—	576	3,203

●有機EL関連

半導体関連の売上のうち、有機EL関連は約66%以上と大きな割合を占めております。

受注高は前期比約1.2倍、売上高も約2倍となりました。

●電気自動車 (EV) 関連

電気自動車 (EV) 関連は前期の第2四半期に初受注し、自動車関連の売上のうち約30%となります。

約47%を占めるパワートレインに続く割合となっており、業績に大きく貢献しております。

Ⅱ. 2018年3月期業績の見通し

2018年3月期 第1四半期（4～6月）

Hirata



	2017年3月期実績		2018年3月期予想	
売上高	80,542		90,000	
自動車関連	30,267		34,000	
半導体関連	32,289		34,000	
家電関連およびその他	15,165		18,000	
その他	2,819		4,000	
営業利益 (率)	8,247	(10.2%)	9,000	(10.0%)
経常利益 (率)	8,039	(10.0%)	8,800	(9.8%)
親会社株主に帰属する当期純利益 (率)	5,891	(7.3%)	6,000	(6.7%)

事業計画達成のための施策

自動車関連では、トランスミッションなどのパワートレイン関連の生産設備の受注は堅調であり、低燃費エンジンや電気自動車（EV）などの大型引合案件のさらなる受注確保に向けて取り組む。また、半導体関連では、有機ELディスプレイの蒸着装置、ウェーハ搬送装置共に堅調に推移。

生産高が高水準で推移するため、負荷調整に取り組みつつ、売上高の確保を図る。

自動車関連事業

主要市場である米国では、原油安、雇用拡大、賃金上昇などを背景として自動車販売は堅調。加えて、各国の排ガス規制をにらんだ自動車部品関連の設備投資が活発化。当社の主力であるパワートレイン関連設備、電気自動車（EV）、自動車部品関連設備も引き続き受注拡大が期待できる。

半導体関連事業

先送りされていた半導体デバイスの投資が回復し、3次元NAND投資に期待。FPD製造装置は、中国・韓国の旺盛な設備投資に加え、台湾・日本市場も増加予測。市場は今後、より付加価値の高い有機ELパネル生産が拡大するものと予測され、当社もさらなる受注増が期待できる。

家電関連およびその他

家電業界の再編が世界的に進んだ中、主要な白物・小物家電市場は微減または横ばい予想。一方で、高機能なデジタル家電は、新興国を中心とした市場拡大が期待される。

Ⅲ. 参考資料

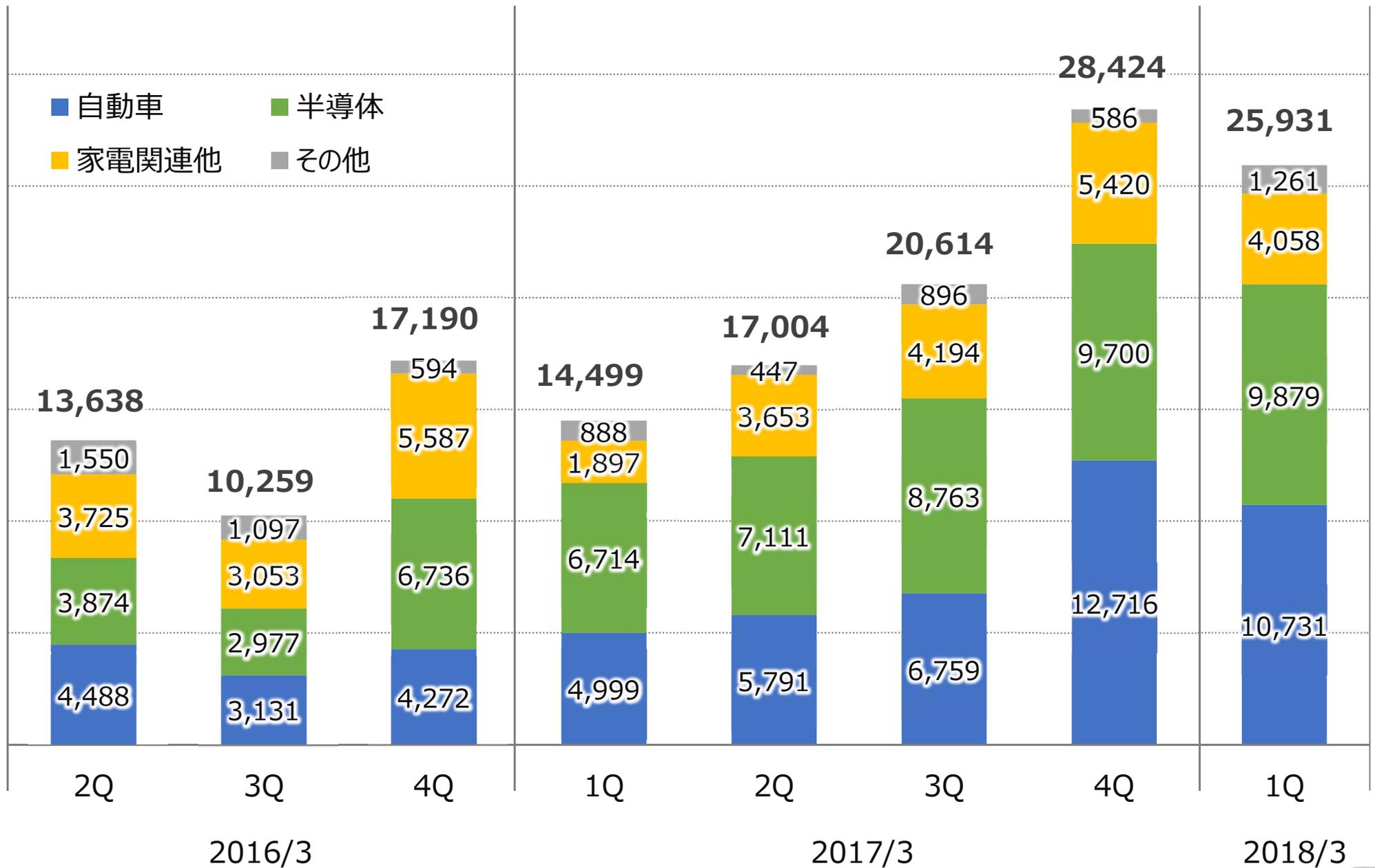
2018年3月期 第1四半期 (4~6月)

Hirata



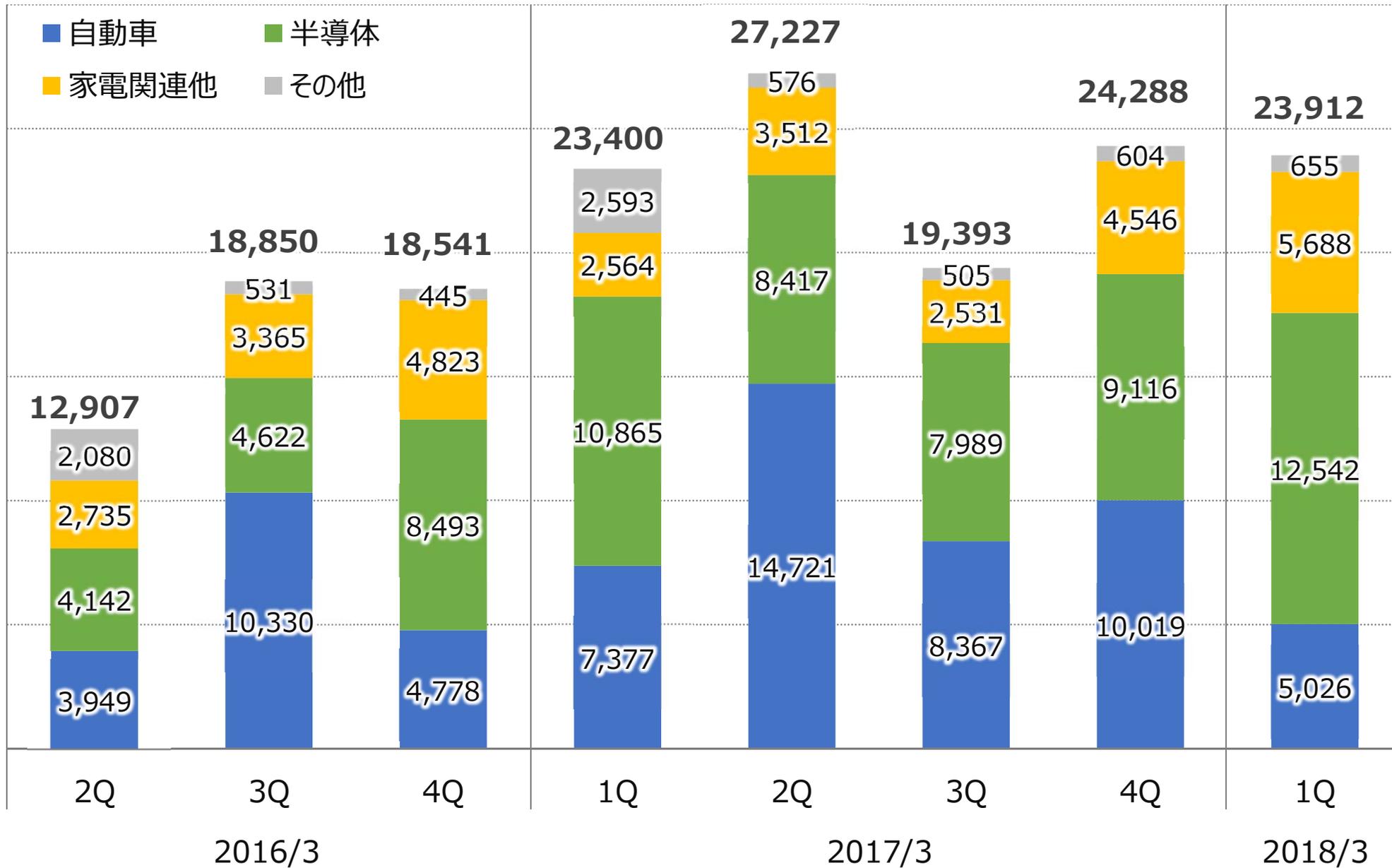
事業部門別四半期売上高の推移

(単位：百万円)



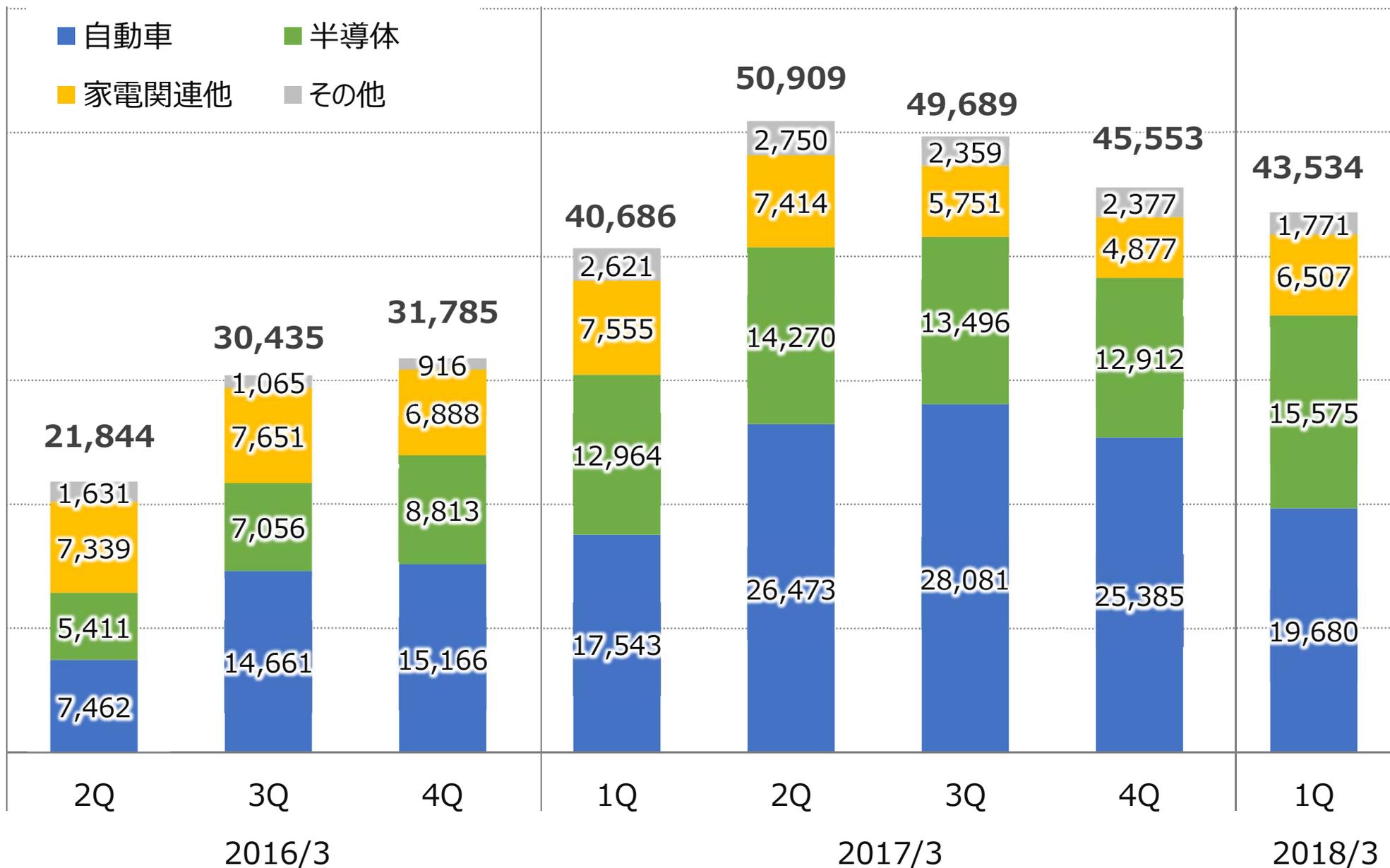
事業部門別四半期受注高の推移

(単位：百万円)



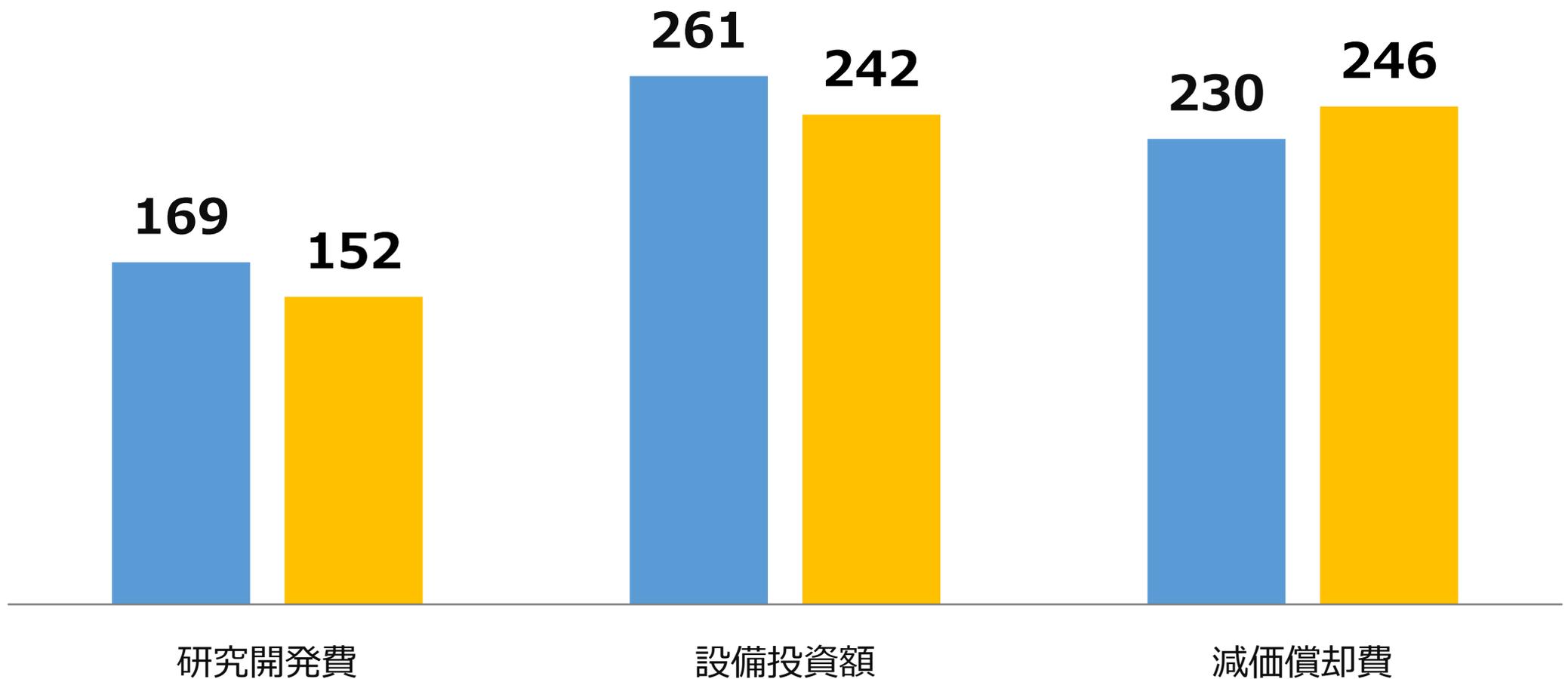
事業部門別四半期受注残の推移

(単位：百万円)

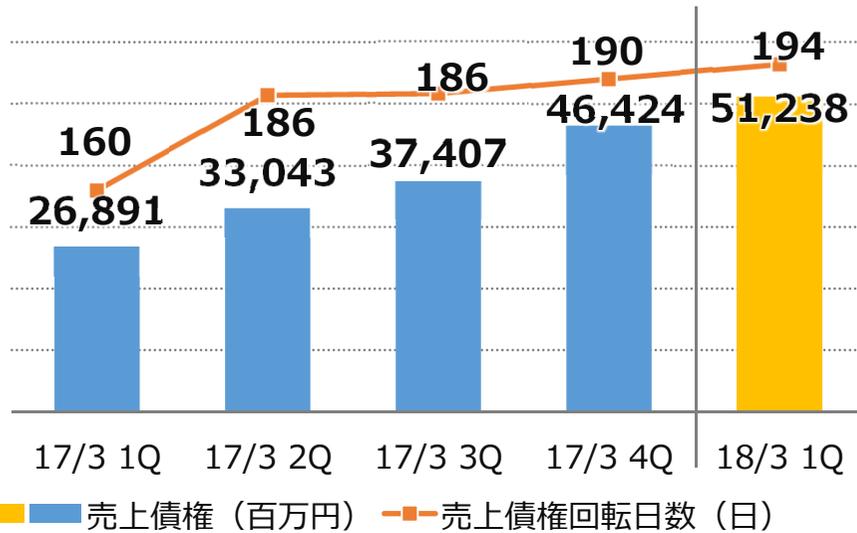


(単位：百万円)

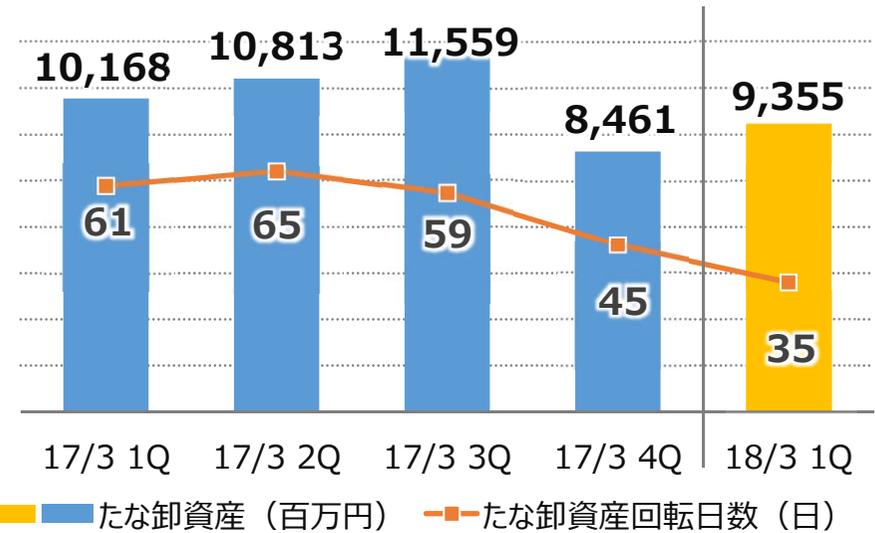
■ 2017年3月期1Q ■ 2018年3月期1Q



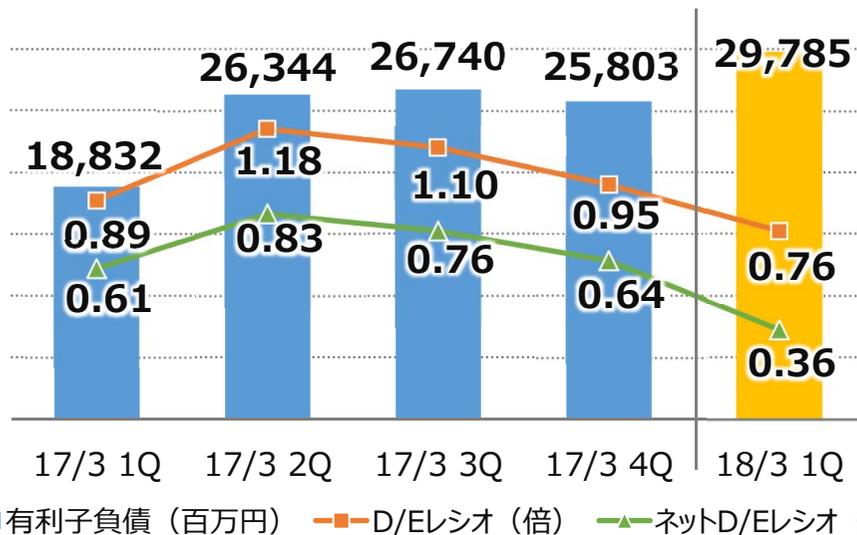
売上債権・売上債権回転日数



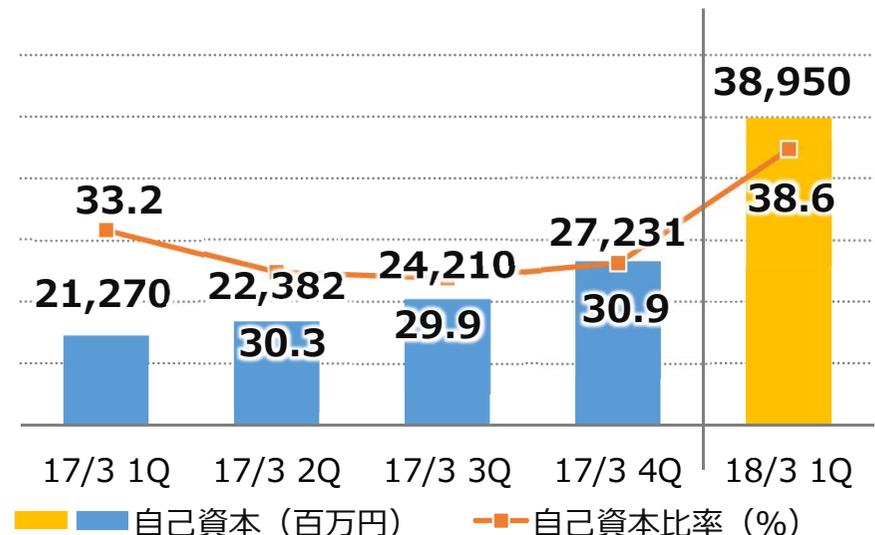
たな卸資産・たな卸資産回転日数



有利子負債残高・D/Eレシオ・Net D/Eレシオ



自己資本・自己資本比率



【注】売上債権回転日数、たな卸資産回転日数については、各四半期毎の期中平均値にて算出しております。

ご注意

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、経済動向、他社との競争状況、為替レートなど潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化などのさまざまな要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。